



暁星国際流山小学校 学校通信 2025. 12月号

“つなげる・かかわる”学び
“協働的・探求的な学び”の実現



校長 佐藤 智子



11月5日は、クロワッサンや「鶏肉のカスレ」、「キャロットサラダ」、「コーンポタージュ」などのフレンチランチでした。11月4日から8日までが“フレンチウィーク”。その取組の一つであるフレンチランチを、子ども達は楽しみに待っていました。また、右写真は、フランス語の早口言葉に挑戦し、スタンプやカード（特別版フランス料理カード）をもらっている様子です。



今年度始めた“Gyosei World Games”でも、フランスの遊びをやってみました。「だるまさんがころんだ」のフランスバージョン「アン、ドウ、トロワ…ソレイユ！」です【写真左】。1年生は夢中になってウリ先生（フランス語講師）から逃げ回っていました。フレンチウィーク中はフランス語で挨拶をし、給食や休み時間にもフランス語に親しむことができました。



11月22日は、第4回「暁祭」のご参観ありがとうございました。グランドデザインテーマ(右)については4月号でお伝えしていますように、四つの視点があり、暁祭では、①今の学習と、前の学習や次の学習とつなげる(見通す・振り返る力) ②様々な教科や活動とつなげる(教科横断的学習・カリキュラム・マネジメント)が反映されています。暁祭

“つなげる・かかわる”学び、協働的・探求的な学びで 世界を広げる
～ Improving Interactive Output Skills ～

【1年生発表「To see My Friends!」 歌「Mon ami le pélican」】



発表には、これまでの学びとの“つながりやかかわり”があり、子ども達は仲間と共に発表を練り上げてきました。特に中学年以上は、内容や脚本を考え、話し合いで改善を図りながら体調不良の友達の分も頑張り、主体的に取り組んできました。子ども達なりに、自分自身の未来や、日本や世界の現状に真剣に向き合う姿があり、胸が熱くなりました。“幸運は準備された心にのみ宿る(幸運の女神は準備している者にしか微笑まない)”(ノーベル化学賞受賞者：北川進教授の子ども達への言葉)ー、子ども達が重ねてきた努力、準備が花開き、幸運の女神が微笑んでくれた、素晴らしい本番の発表だったと思います。

【2年生発表「The Mitten」 歌「We're All in This Together!」】



【3年生発表
「What is a job?」
歌
「Touch the sky」】



【4年生発表「Why we learn English」
歌「High」】



【5年生発表

「Products of
the Future」
歌「Give Peace
a Chance」】



【6年生発表

「Generating
Electricity」
歌「What A
Wonderful World」】



友だちといっしょにパフォーマンスを直したことや、「ここをかえた方がいいよ。」とみんなが言ってくれたことが心に残りました。これからチームワークをほかのイベントでもつかえるようにいかしたいです。

みんなほかの子がまっているとき、しっかり心の中でおうえんしている。ほんとに「すごい」といわれるげきになりました。これからも大きなこえで人をよろばせていきたいです。

歌をよく歌えた。じぶんのセリフをいうときのさいごのジェスチャーをわすれたからまずいと思った。さいごは、ポロツとなみだがなぜか出た。なぜか心がかってにかんどうした。

心にのこったことは、みんなの歌がとってもうまくて、歌うのが楽しかったことです。暁祭のセリフを自分で考えたときみたいに、生活の時も学習も、わからないことは自分で勉強していきたいです。

練習を毎日いっぱいして、本番にはみんなで協力して、私は成功したと思い、とてもうれしかったです。みんなと暁祭を協力したときみたいに、一人でなやみをかかえず、みんなと協力していきたいです。

助け合って、失敗せずに最後はみんなでお楽しみすることが残った。今年の暁祭を通して、これからは先生と話したり、困っている人を助けたりできるように、たくさんの英語をしゃべれるようになりたい。

くじらロボットを作る時に一番大変だったのは、台本を自分で考えたことです。ロボットの特徴をできるだけ伝えるために考えました。くじらは他の人が作ったけど、とても細かく、かわいかったです。背中の穴、お尻の穴もあって、ちゃんとえさを出せるようになっていました。

暁祭の練習・準備・本番を通して、新製品を作ること、セリフを覚えること、記者らしく演技をすることが大変でした。できるだけ新製品をリアルに製作することをがんばりました。新製品を製作するにはたくさん苦労と努力が必要で、チームワークも必要ということを知りました。新製品が仕上がった時のうれしさが一番思い出に残っています。



11月8日、今年度2回目の清掃ボランティアが行われ、たくさんの保護者の方が参加してくださいました。お天気に恵まれ、校舎内外のいたる所をきれいにさせていただきました【写真右上】。ブラインドなどは、日頃、なかなか清掃が行き届かず、汚れがたまってしまっていました【写真左】。



また、ライブラリーの本を一冊ずつ拭いていただいた【写真右下】ことも大変ありがたかったです。子ども達の日々の学習環境を整え、気持ちよく生活できるよう、保護者の方々が一生懸命清掃してくださったことを忘れず、児童・職員一同、学校を大切に使用していきたいと思っています。

お忙しい中、本当にありがとうございました。



